

(様式1)

### 自己評価票

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目)                               | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)      |
|--------------------|--|---|-------------------------------------|
| <b>・理念に基づく運営</b>   |  |   |                                     |
| <b>1. 理念と共有</b>    |  |   |                                     |
| 1                  | 地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている  | ・事業所独自の理念を作成している。                               |                                     |
| 2                  | 理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる   | ・施設に、理念・職員の心得を掲示しいつでも、誰にでも分かる様にしている。            | ・施設に理念、職員の心得をいつでも目に触れるような場所に掲示している。 |
| 3                  | 家族や地域への理念の浸透<br><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる  | ・施設内の共有スペース(居間)に掲示し利用者、家族がいつでも見れるようにしている。       |                                     |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |  |   |                                     |
| 4                  | 隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献<br><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。 | ・運営推進会議には、自治会・家族会の方にも出席を促し、事業所を理解していただくようにしている。 |                                     |

| 項目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------|--|-------------------|---|
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |  |                   |   |
| 5                            | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>  |                   | <p>外部評価の結果を職員会議の議題として取り上げ、職員全員に周知し改善に取り組んでいる。</p>   |
| 6                            | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>  |                   | <p>運営推進会議では、議題を設けているが一方的な報告とならないように出席者から率直な意見をひきだすように取り組んでいる。</p>   |
| 7                            | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> |                   | <p>当事業所も五戸町役場で開催する地域ケア会議に出席し、市町村や他福祉施設と情報交換を行っている。</p>  |
| 8                            | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>  |                   | <p>生年後見人制度を利用している利用者があるので、申し送りの際に話題にしている。</p> <p>今年度から、成年後見人制度を利用する人もいるので、利用するから終わりではなくこれからも申し送りの際には話題にするようにしている。</p> |
| 9                            | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>   |                   | <p>職員会議の中でも高齢者虐待防止について取り上げて、理解を深めている。</p>   |

| 項目                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|---|-------------------|--------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |   |                   |                                |
| 10                     | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            |                   |                                |
| 11                     | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           |                   |                                |
| 12                     | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>         |                   |                                |
| 13                     | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           |                   |                                |
| 14                     | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       |                   |                                |
| 15                     | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> |                   |                                |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|--------------------------------|
| <p>16 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>・職員の移動は、最小限にし、利用者の影響を考え配慮しながら行っている。</p>                              |                   |                                |
| <p><b>5. 人材の育成と支援</b></p>   |   |                   |                                |
| <p>17 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              | <p>・2ヶ月に1度の苑内の学習会の計画やその他、外部の研修への参加も出来るだけ受けさせる様に配慮している。その後は報告を行っている。</p> |                   |                                |
| <p>18 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>    | <p>・五戸町地域ケア会議に出席し地域の福祉施設等との交流している。</p>                                  |                   |                                |
| <p>19 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                    | <p>・飲食会等開催しストレス発散出来る様に取り組んでいる。</p>                                      |                   |                                |
| <p>20 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                           | <p>・職員を評価する体制がない。</p>   |                   |                                |

| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|--------------------------------|
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |  |   |                                |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |   |                                |
| 21                               | <p>初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>・入所する際は、事前に面談を行い本人や家族より情報収集し、入所判定会議を開き内容を検討している。</p>                                       |                                |
| 22                               | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>               | <p>・面接、判定会議をし、当苑での入所可・非を判断している。非となった場合は他施設等の相談にも応じている。</p>                                    |                                |
| 23                               | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>    | <p>・本人が納得の上で入所できるように、家族への支援、入所前の施設見学馴染みの生活用品の持ち込み等できる体制を整え、環境の変化からの不安を少しでも軽減できるように配慮している。</p> |                                |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |   |                                |
| 24                               | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>       | <p>・日常的に苑内の軽作業や菜園畑での作業などを利用者と一緒にしている。</p>   |                                |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|--------------------------------|
| 25<br>本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | ・利用者の状況変化時など、速やかに家族連絡、行事への参加の呼びかけを行い利用者、家族、職員が交流し情報交換ができるようにしている。 |                   |                                |
| 26<br>本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | ・月1度の「おたより」で行事や日常の写真と近況報告をしている急な場合は電話連絡を行っている。                    |                   |                                |
| 27<br>馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | ・本人への面会はどなたでも自由である。受診や外出の際に面会してもらえる様に家族に協力体制をとっている。               |                   |                                |
| 28<br>利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている               | ・食事の席は固定されているが、日々の活動は自由であり交流をもてるように努めている。                         |                   |                                |
| 29<br>関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | ・退所後は継続的な関係は持たれていない。  |                   |                                |

| 項目                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|---|---|---------------------------------|
| <b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>     |   |   |                                 |
| <b>1.一人ひとりの把握</b>                    |   |   |                                 |
| 30                                   | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>  | <p>・利用者からの要望や訴えが出た場合は家族の協力を得て希望を叶えるようにしている。</p>                         |                                 |
| 31                                   | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>                                    | <p>・入所前に面接を行い利用者・家族・生活環境等の情報を集め把握に努めている。</p>                            |                                 |
| 32                                   | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>  | <p>・食事の時間はある程度決めてはいるが、その他スケジュールは決めていない。</p>                             |                                 |
| <b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |   |                                 |
| 33                                   | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>     | <p>・利用者に担当職員を決め日々の生活の中から介護計画を作成している。・毎月のサービス担当者会議で全職員で十分話し合いを持っている。</p> |                                 |
| 34                                   | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>・利用者の状況によって、介護計画の見直しは随時行われている。必要に応じては、家族も含めた検討会も行っている。</p>           |                                 |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|--------------------------------|
| 35 個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | ・利用者ごとに、ケース記録があり、日々の生活・身体・介護計画の実施状況を記録し月末には計画の、評価、見直しもされている。 |                   |                                |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>   |  |                   |                                |
| 36 事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | ・本人や家族の要望に答え、急な外泊や外出、通院介助・送迎に対応するように努めている。                   |                   |                                |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>   |  |                   |                                |
| 37 地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | ・行事などには、地域の専門学校のボランティアを依頼している。                               |                   |                                |
| 38 他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | ・他のサービスを利用していない。   |                   |                                |
| 39 地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | ・地域包括支援センターとの協働はされていない。                                      |                   |                                |



| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|-------------------|--------------------------------|
| <p>40</p> <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>  | <p>・入所以前からのかかりつけや、家族が希望する病院がある場合は、継続できるようにしている。</p>          |                   |                                |
| <p>41</p> <p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  | <p>・地域病院での診療が困難な場合は、認知症の専門医の診療が受けられるように家族と話し合っている。</p>       |                   |                                |
| <p>42</p> <p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   | <p>・出来ていない。今後、医療的な相談が出来るようにして欲しい。</p>                        |                   |                                |
| <p>43</p> <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      | <p>・入院時には、面会を行い、本人、家族、看護師から状態を聞いている。「情報提供書」を作成し情報交換している。</p> |                   |                                |
| <p>44</p> <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   | <p>・終末期には、対応出来ない状態である。</p>                                   |                   |                                |
| <p>45</p> <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | <p>・マニュアル作成しているが、実施していない。</p>                                |                   |                                |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|--------------------------------|
| 46<br>住み替え時の協働によるダメージの防止<br><br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | ・他入所施設や居宅へ戻り訪問介護を利用するときは、相手事業所と連絡をとり「情報提供書」を作成している。                     |                   |                                |
| <p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>                             |   |                   |                                |
| 47<br>プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                       | ・利用者の個人ファイルは事務所のキャビネットに一括保管している。  |                   |                                |
| 48<br>利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている                   | ・各利用者の理解度により話し方を変えたり、表情、態度から意見をくみとるよう努めている。                             |                   |                                |
| 49<br>日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                         | ・施設側のスケジュールを押しつけないように本人の意思、希望に添えるように支援している。                             |                   |                                |
| <p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>   |   |                   |                                |
| 50<br>身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                                    | ・出来る限り、自分で着替えが出来るように衣類等を分かりやすいように保管している。・散髪は、出張理容室に行っている。家族が面会時に行ってもいる。 |                   |                                |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|--------------------------------|
| 51<br>食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者<br>と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている  | ・可能な限り、準備、後片付けは一緒に行うようにしている。昼食時には職員も一緒に同じ物を食べている。                      |                   |                                |
| 52<br>本人の嗜好の支援<br><br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好み<br>のものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽し<br>めるよう支援している           | ・家族からの差し入れは職員が預かるものの、希望時<br>には自由に食べれるようにしている。                          |                   |                                |
| 53<br>気持ちよい排泄の支援<br><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの<br>力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排<br>泄できるよう支援している       | ・排泄チェック表を作成し、時間での声がけ、誘導を<br>行っている。                                     |                   |                                |
| 54<br>入浴を楽しむことができる支援<br><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一<br>人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を<br>楽しめるように支援している   | ・一応、曜日は決めてはいるが、本人の都合の具合、<br>受診等の状況に合わせて実施している。                         |                   |                                |
| 55<br>安眠や休息の支援<br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安<br>心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援して<br>いる                    | ・就寝は自由にしている。眠れない利用者には、温<br>かい飲み物を提供したり、病院より処方になった薬<br>を服用調整しながら支援している。 |                   |                                |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援   |  |                   |                                |
| 56<br>役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一<br>人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみ<br>ごと、気晴らしの支援をしている | ・掃除、調理、家庭菜園等のできる範囲での手伝い<br>をお願いしている。                                   |                   |                                |


| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                  | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|--------------------------------|
| 57<br>お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している         | ・金銭管理は全て職員が行っている。行事等外出時も職員の支援のもと買物を行っている。        |                   |                                |
| 58<br>日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                           | ・可能な限り、希望に応じて外への散歩等支援している。                       |                   |                                |
| 59<br>普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している        | ・年間行事計画を作成、外出の機会を多く設けている。                        |                   |                                |
| 60<br>電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | ・手紙のやりとりは、ほとんどできていない。電話はいつでも出来るようにし、希望時には支援している。 |                   |                                |
| 61<br>家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | ・面会時間は決められているが、その他の時間でも対応している。                   |                   |                                |
| (4)安心と安全を支える支援   |  |                   |                                |
| 62<br>身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・職員会議で「身体拘束」について話題にしている。                         |                   |                                |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                           |
|---|---|-------------------|--|
| 63<br>鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる     | ・夜間、早朝、職員の少ない時のみ施錠するようにしている。無断外出時に備えてセンサーを設置している。 |                   | ・夜間、早朝以外は鍵をかけずいつでも出入りできるようにしている。外出、散歩には職員が付き添い等の支援をしている。 |
| 64<br>利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している              | ・プライバシー、安全の確保に努め、状況、様子を把握している。                    |                   |  |
| 65<br>注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている        | ・利用者の残存能力に合わせて、仕分け管理に努めている。居室以外での預かりも行っている。       |                   | ・危険を伴う物の保管場所には、鍵をかけるようにしている。                             |
| 66<br>事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる     | ・時間、場所に問わず起こりうる事故には常に、気配り、目配りしている。                |                   | ・ヒアリハット、事故報告書を作成し、再発防止に向けた話し合いを常に持っている。                  |
| 67<br>急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている               | ・事故発生時の初期対応マニュアルを作成している。                          |                   |  |
| 68<br>災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | ・五戸消防署と連携をとり、防災訓練を実施している。                         |                   |  |

| 項目                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|-------------------|--------------------------------|
| 69                        | <p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> |                   |                                |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |  |                   |                                |
| 70                        | <p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>           |                   |                                |
| 71                        | <p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>       |                   |                                |
| 72                        | <p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>         |                   |                                |
| 73                        | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>                   |                   |                                |
| 74                        | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>      |                   |                                |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                        | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|--------------------------------|
| 75<br>感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)   | ・インフルエンザ予防接種は、利用者、職員共に施設に内科医来苑してもらい実施している。             |                   |                                |
| 76<br>食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | ・毎週日曜日に冷蔵庫の掃除、消毒を行い同時に食材の日付等を確認している。流し台、台所はその都度掃除している。 |                   |                                |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b><br>(1)居心地のよい環境づくり   |  |                   |                                |
| 77<br>安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | ・玄関には行事の写真をはり、玄関先には花を飾っていつでも出入りできるようにしている。             |                   |                                |
| 78<br>居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・廊下には、行事や日々の活動の写真を貼っている。                               |                   |                                |
| 79<br>共用空間における居場所づくり<br><br>共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | ・居間には、テーブルの他に、畳の場所もあり、自由に横になっている。冬季間はこたつもやっている。        |                   |                                |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                  | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|-------------------|--------------------------------|
| <p>80</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>・入所時の説明で愛用されていた物の持ち込みをお願いし使用している。</p>         |                   |                                |
| <p>81</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>        | <p>・居間に、温・湿度計を設置し管理している。なるべく自然の空気の入替えに努めている。</p> |                   |                                |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり  |  |                   |                                |
| <p>82</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>                 | <p>・廊下、トイレにてすりを設置し、利用者が自立した生活が送れるようにしている。</p>    |                   |                                |
| <p>83</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>                           | <p>・居間に分かるように名前を貼ったり、確認しやすくしている。</p>             |                   |                                |
| <p>84</p> <p>建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>   | <p>・ベランダを利用し、日光浴をしたりしている。</p>                    |                   |                                |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



| . サービスの成果に関する項目 |  |   |
|-----------------|--|---|
| 項 目             |  | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所に 印をつけてください)                  |
| 85              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ほぼ全ての利用者の<br>利用者の2/3くらいの<br>利用者の1/3くらいの<br>ほとんど掴んでいない |
| 86              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | 毎日ある<br>数日に1回程度ある<br>たまにある<br>ほとんどない                  |
| 87              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 88              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 89              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 90              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 91              | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 92              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と<br>家族の2/3くらいと<br>家族の1/3くらいと<br>ほとんどできていない    |
| 93              | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ほぼ毎日のように<br>数日に1回程度<br>たまに<br>ほとんどない                  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を 印で囲むこと)                     |
|-----|---|---|
| 94  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている<br>少しずつ増えている<br>あまり増えていない<br>全くいない           |
| 95  | 職員は、生き活きと働けている  | ほぼ全ての職員が<br>職員の2/3くらいが<br>職員の1/3くらいが<br>ほとんどいない       |
| 96  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない    |
| 97  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ほぼ全ての家族等が<br>家族等の2/3くらいが<br>家族等の1/3くらいが<br>ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)